

1 五味天満宮 ごみてんまんぐう

幕末に起きた安政の南海地震と大正期の水害のことを今に伝える石碑が境内に残されている。静かな鎮守の森の中、幾度となく起こる津波や洪水を乗り越え、この地に住み続けるための教訓を今に伝えてくれる。



市野々バス停から徒歩 7 分

2 大岐の浜 おおきのほま

長さ1.5kmにも及ぶ美しい砂浜は、アカウミガメの産卵地としても知られる。全国的にも珍しい照葉樹林の浜林には、カカツガユなどの希少植物も自生。ビーチコーミングや生き物観察、浜林の散策も楽しめる。絶好のサーフポイントでもある。



芝バス停から徒歩 5 分

3 津呂の駄場 つろのだば

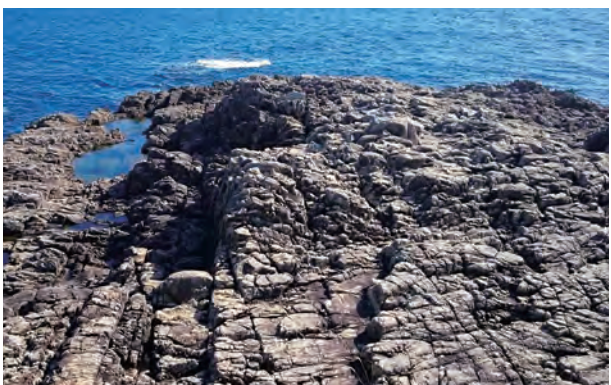
「駄場」とは、大地の隆起と海水準の変化によってできた台地。暮らしたの場となっている平地は、かつては浅い海の底だった。大谷地区の水田や、潮風対策のために棒などで築かれた津呂地区の生垣は、駄場を象徴する景観。



津呂バス停下車

5 松尾 まつお

花崗岩の上に広がる集落、松尾。集落の海沿いには花崗岩が突き出た岬がいくつもあり、風光明媚な磯が広がる。女城神社の先にある女城鼻では、花崗岩の割れ目に板状に入り込んだ玄武岩が観察できる。



松尾のアカウ女城鼻 神社前バス停徒歩 1 分
松尾区長場前バス停徒歩 3 分

4 足摺岬 あしずりみさき

目の前に広がる太平洋に白い断崖と灯台が映える絶景。漁師文化と深いつながりを持つツバキ林が彩る遊歩道や、しばしば顔を出すウミガメも見どころ。白い断崖はマグマが地下で冷え固まった花崗岩。



足摺岬バス停から徒歩 5 分

6 唐人駄場 とうじんだば

かつて縄文人たちが暮らし、現在は自然に囲まれた園地となっている唐人駄場。その背後の山中にある「唐人石」は風化・侵食作用によってできた花崗岩の巨石群。巨石の上からは、周りの山々と太平洋が見渡せる。



唐人駄場入口バス停から徒歩 40 分

土佐清水ジオパークからのメッセージ

地球の記憶は未来への道しるべ

地球の活動がつくりだした地質・地形遺産は、私たちの暮らす惑星「地球」の進化の歴史を教えてくれるもの。今、ここで見られる地球の「記憶」のカケラから、大きな時間の流れを感じてみよう。それは、きっと私たちの未来への道しるべとなる大切なことを教えてくれるはず。

大地の物語を感じよう

地球の営みによってできた大地は、そこに広がる豊かな生態系や私たち人間の暮らしを支えている。人々を取り囲む様々なものが大地に根ざし、そして相互に複雑にかかわりながら、地域ごとに独自の景観や文化をつくりだしてきた。大地の物語を紐解きながら、土佐清水をめぐってみよう。



土佐清水ジオパークを楽しむ 3つの視点

足元を見つめる



よく見てみよう。きれいな景色やおいしい食事だけで満足しては、もったいない。目を凝らしてみると、地層に記録された大昔のできごとや、環境に適応するための生き物たちの工夫、この土地で生きていくための人々の知恵に出会うことができる。そんな小さな発見を積み重ねたとき、きっと感動が待っているはず。

地域を見つめる



体感してみよう。景色も食事も、当たり前にあるものではない。その背景には、産業や伝統文化、人々の想い、生態系、そしてすべての土台となる大地がある。いろいろな要素が結びつきあって、この土地にしかない特別なものとなっている。大地から広がるストーリーに触れたとき、きっと感動が待っているはず。

地球を見つめる



想像してみよう。ここで出会う全ては、ほんのカケラではあるが、まぎれもなく地球の一部。それはつまり、地殻変動のような地球の営みや自然災害、資源・環境問題といった世界規模の課題と無関係ではられないということ。そして、それはあなた自身も。そのつながりに気が付いたとき、きっと感動が待っているはず。



12 叶崎 かなえざき

叶崎から見えるシマシマの断崖は、深い海にたまった砂や泥が、プレートの沈み込みによって陸側に押し付けられてできた地層。晩秋から初冬にかけて可憐な花を咲かせるツメレンゲや、明治時代に建造された灯台も見どころ。

叶崎バス停徒歩 2 分



11 爪白海岸 つまじろかいがん

爪白海岸では、河口や干潟でできた地層が竜串海岸とはまた違った自然の造形を作り出している。遊歩道の先にあるレトロフューチャーな建造物は足摺海底館。岩礁に集う様々な海の生き物を観察できる。

海底館前バス停徒歩 5 分



10 竜串海岸 たつくしかいがん

300 年以上前から愛される奇勝奇岩は、約 1700 年前の浅い海の地層が波や潮風に洗われてできた。地震によってグニャグニャになった地層や、生き物が暮らした痕跡（生痕化石）から、はるか昔に思いを馳せてみるのもよい。

竜串バス停徒歩 5 分



9 鹿島 かしま

清水港に浮かぶ「鹿島」は、豊漁祈願の島として大切に守られてきた。そのため島の森は今でも土佐清水本来の森の面影を残している。埋め立てによって陸続きとなった今では、散策コースとして清水の人々に愛されている。

旭町バス停徒歩 7 分



8 唐船島 とうせんじま

昭和南海地震時に 80cm 隆起した痕跡が見られる場所として、国の天然記念物に指定されている。古くから唐船（外国船）が出入りしていたことがその名の由来。サギの仲間の営巣地を間近で観察できる。

厚生橋バス停下車すぐ